

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

～若者から始まる地域再生～ ふくい未来人材U・Iターンプロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

福井市

### 3 地域再生計画の区域

福井市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、各種住み良さランキングや、小中学生の高い学力・体力に裏打ちされた子育て・教育環境などにおいて、全国的にも高い評価を受けているところであるが、人口の社会動態をみると、大都市圏を中心に、県外他都市に対して転出超過の傾向が続いている。

特に若年層では、福井県外に進学した学生の地元福井県へのUターン就職率は、約29%（平成28年3月大学等卒業）と低水準であり、年間約2,000人の若年者が県外に流出する非常に厳しい状況に置かれている。

そこで、本市では、「福井市に戻り就職したい」、「福井市の豊かな生活環境の下で働きたい」と考える学生を増やす取組みにより、本市へのU・Iターン就職者を増やし、将来的な人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

#### 【数値目標】

事業	～若者から始まる地域再生～ ふくい未来人材U・Iターンプロジェクト	年月
KPI	本事業によるU・Iターン就職者数	
申請時	0人	H29.3
初年度	0人	H30.3
2年目	9人	H31.3
3年目	9人	H32.3

### 5 地域再生を図るために行う事業

#### 5-1 全体の概要

5-2（3）に記載

#### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例

(内閣府) : 【A 2 0 0 7】

(1) 事業名 : ～若者から始まる地域再生～ ふくい未来人材U・Iターンプロジェクト

(2) 事業区分 : 移住・定住促進

(3) 事業の目的・内容

(目的)

本市は、各種住み良さランキングや、小中学生の高い学力・体力に裏打ちされた子育て・教育環境などにおいて、全国的にも高い評価を受けているところであるが、人口の社会動態をみると、大都市圏を中心に、県外他都市に対して転出超過の傾向が続いている。

特に若年層では、福井県外に進学した学生の地元福井県へのUターン就職率は、約29% (平成28年3月大学等卒業) と低水準であり、年間約2,000人の若年者が県外に流出する非常に厳しい状況に置かれている。

そこで、本市では、「福井市に戻り就職したい」、「福井市の豊かな生活環境の下で働きたい」と考える学生を増やす取組みにより、本市へのU・Iターン就職者を増やし、将来的な人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

(事業の内容)

県内外の大学生等を対象に、企業訪問、経営者との座談会、U・Iターン経験者との意見交換会、アイデアプランコンテスト等、複数のプログラムを福井市内で1週間程度の合宿形式で行う。

市内の企業や雇用環境について学ぶとともに、福井市で働くことや暮らすことについて深く考える経験を通し、本市へのUターン、Iターンによる就職を促す。

事業の実施にあたっては、行政、経済界で構成する実行委員会を組織するとともに、地元大学生にもサポーターとしてイベントの運営に協力してもらうなど、継続的に事業を推進する運営組織体制を確保する。

下記の各取組を推進する実行委員会に対し、福井市は事業運営に係る助成を行うとともに、実施内容の企画・運営に係る中心的なメンバーとして参画していく。

・市内企業訪問や市内企業経営者との座談会

国内や海外で高いシェアを誇る企業、女性や若者の定着率が高い企業、まちづくりに熱心な企業など、様々な魅力や強みを持った特徴ある市内企業を訪問し、市内企業への理解を深める。また、先輩社員へのインタビューなどを通して、U・Iターン就職に対する不安の解消や就職した際の将来像とイメージづくりを図る。更に、U・Iターン就職者の採用に意欲的な経営者など、経営トップ陣との座談会を設けることで、本市企業のオンリーワン技術やニッチトップ企業の経営力などの底力を伝えるとともに、経営者のビジョンに触れる機会を設ける。

・U・Iターン経験者との意見交換会

福井市へU・Iターンした経験を持つ社会人と、衣（居）・食（職）・住（充）など様々な観点から、これまで暮らしていた街と福井市の違いやそれぞれの良さについて意見交換を行い、本市で生活することの具体的なイメージを醸成し、そのメリットを知ることで、U・Iターンへのモチベーションを高める。

・アイデアプランコンテスト

市内企業訪問、市内企業経営者との座談会、U・Iターン経験者との意見交換会などの各種プログラムを通して学んだことを活かし、「福井へのU・Iターン就職者を増やすための取組み」などをテーマに、参加学生がプランを企画し発表するコンテストを行うことで、実際に本市で就職する強いイメージづくりを図る。また、実現可能性のあるアイデアプランについては、その事業化に向け実行委員会で検討を行うほか、関係する企業へのフィードバックを行っていく。

（各年度の事業内容）

- 初年度）参加学生を募集し、9月頃に上記事業を実施。プログラム終了後、SNS等を活用し、学生目線で地元企業の魅力や働きがい等について積極的に情報発信を行い、本市へのU・Iターン就職を志向する若年者の増加を目指す。
- 2年目）前年度の事業内容に加え、学生アンケートや企業アンケート等を活用し事業を改善して実施。
- 3年目）本事業の実施に伴うU・Iターン就職者の実態をフォローし、さらなる事業の改善を行う。

（4）地方版総合戦略における位置付け

本事業は、「福井市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」における基本目標2「福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる」のうち、基本的方向「ふるさとで働こう。人材還流、地元就職の促進」を推進する施策「ライフステージに応じたUターン就職の促進、県内大学生の定着促進」に位置付けられる事業であり、ターゲットを絞ったU・Iターン促進を図ることで、具体的な数値目標である「転入・転出者数を均衡」（H27 転出超過 455 人）の達成に直接寄与するものである。

（5）事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指数（KPI））

事業	～若者から始まる地域再生～ ふくい未来人材U・Iターンプロジェクト	
	KPI	年月
	本事業によるU・Iターン就職者数	
申請時	0人	H29.3
初年度	0人	H30.3
2年目	9人	H31.3
3年目	9人	H32.3

(6) 事業費 (単位：千円)

～若者から始まる 地域再生～ ふく い未来人材U・Iタ ーンプロジェクト	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	2,500	2,500	2,500	7,500
区分	負担金、補助 及び交付金	2,500	2,500	2,500	7,500

(7) 寄附の見込額 (単位：千円)

年度	H29	H30	H31	合計
法人名	株式会社 ユニテックス	株式会社 ユニテックス	株式会社 ユニテックス	
見込み額	2,000	2,000	2,000	6,000

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行う。

(評価の時期・内容)

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を取りまとめ、大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証や議会の関与を得ながら、検証結果の報告をまとめる。

(公表の方法)

毎年度、市のホームページ等にて公表する。

(9) 事業期間 平成29年4月～平成32年3月

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証を行う。

#### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を取りまとめ、大学、金融機関、福井商工会議所、市民団体等の有識者から構成する福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略有識者会議メンバーによる検証や議会の関与を得ながら、検証結果の報告をまとめる。

#### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、市のホームページ等にて公表する。